

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 30年 3月 31日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ
団体名 住みたいまち幡多学区を創り隊

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 代表 長汐 良熊

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>住みたいまち幡多学区を創り隊</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>幡多小学校区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<p>以下の内容を実施してきました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 組織・体制をつくります <ol style="list-style-type: none"> ①若い世代が活躍できる組織・体制を拡大していきます 2) 学区内の活性化を図る活動を行います。 <ol style="list-style-type: none"> ①発達障害の理解者・支援者を増やしていく推進活動 ②地域交流活動(誰もが気軽に参加できる事業を企画・運営) <ul style="list-style-type: none"> ・田圃として使用していない場所を使って子どもの遊び場をつくります →「泥んこ遊びの会」を実施します。 ③幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現) 幡多学区に愛着が持てる、幡多学区をもっと好きになる、そのきっかけとなるシンボル(イメージキャラクター)を作り、学区を盛り上げていきます。 ④学区内の情報を発信していく仕組み検討
<p>② 解決を目指した課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「安心・安全 住みたいまち幡多学区」実現のためには、10年後、20年後を担う子供たちが育つ土壌を、今まで作ってくださった先輩方から引き継いでいく担い手が不足している。 ・私たち現役世代の30～50代は日々の生活や仕事に追われ、自分たちの時間を割いてまでなかなか地域づくりに参画することが難しいと考える人が多い。 ・興味のある行事に参加する人は多いが、参画してくれる人が少ない。 ・各町内会や、各種団体でも人材不足が深刻な課題である。 ・まだまだ発達障害などの障害を持っている方の理解が低い。 ・学区を盛り上げるためには何かきっかけとなる起爆材が必要である。

◎以下の内容を実施することを目標に進めてきました。

1) 組織・体制をつくります

①若い世代が活躍できる組織・体制を拡大していきます

2) 学区内の活性化を図る活動を行います。

① 発達障害の理解者・支援者を増やしていく推進活動

② 地域交流活動（誰もが気軽に参加できる事業を企画・運営）

・田圃として使用していない場所を使って子どもの遊び場をつくります
→「泥んこ遊びの会」を実施します。

③ 幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現)

幡多学区に愛着が持てる、幡多学区をもっと好きになる、そのきっかけとなるシンボル（イメージキャラクター）を作り、学区を盛り上げていきます。

④ 学区内の情報を発信していく仕組み検討

1) について、学区の数多くの行事に参加・協力してまいりました。各町内会長様や、社会福祉協議会、婦人会、体協などの各種団体と、防災訓練（泥んこ遊び）などの運営でメンバー同士がつながることができました。また小学校とはイメージキャラクター「はたワン」を核に三つにかかわりを持つことができました。そういった事業の中で縦、横のつながりができ、また地域のために、本当に多くの方がかかわっていることも実感できました。ただ、多くの団体は、個々の思いで活動をしている団体が多いため他とのかかわりがなく、連携が取ればもっとスムーズに行える活動が多くあるということも実感しました。活動を通じて、「繋ぐ」という役割も大事だと考えそういったことを行い、地道に継続していきます。2) の事業については、多くの成果を得られました。

③ 目的・目標の達成状況

①は、特に学区の登下校の見守り隊をしてくださっている老人クラブの方々がかかわりが増えたこともあり、講演会や支援などに参加して下さる方が増えてきました。各町内会長様も関心を深めてくださりました。

事業としては、9月に高屋パークフェスティバルで子供たちとともに出店、併せて、高屋クエストの運営、小中学生のボランティア支援も行いました。

2月に「気になる子どもに寄り添う支援とは？」と題して佐藤堯岡山大学教授と、南恭子放課後ラゴ講師による講演会を開催いたしました。今回も80名を超える参加をいただきました。また、池田滋先生を迎え、特別講座として保護者の悩み相談会を開催いたしました。

②の活動として、泥んこ遊びを行いました。連合町内会長のアドバイスで防災訓練の一環で行わせていただきました。そのため、連合町内会、婦人会、愛育委員会、消防団等が全面協力して下さったため、初めての試みであるにもかかわらず、安全面や、運営に全く不安もなく進行することができました。

また、幡多小イクメン倶楽部のメンバーはあまり地域にかかわりがなかった方が多く、この企画をきっかけに親交も深まり、会を継続することで、若い男性が地域活動へ参画するきっかけづくりになると感じました。また、今の子供たちには珍しい「そうめん流し」を今年も行い、様々な会で実施いたしました。子供たちだけでなく、保護者の方も楽しく、また自然といろいろ協力して頂け、関わりへの入り口としてはよい活動だと感じました。また、東公民館が主催で竜操中学校区の未来を考えるワークショップに事例報告に、「はたワン」と共に参加させていただきました。周りを巻き込むことや、継続することの難しさなど、改めて考えさせられる良い会でした。

③は、学区のイメージキャラクター「はたワン」が誕生いたしました。

着ぐるみも作成しました。計画では手作りを考えておりましたが、学区の有識者で検討をし、学区の予算を捻出していただき、業者に委託してイメージをそのまま反映し、長く使用できるものを作成いたしました。ただ、イメージを形にするところは、大塚デザイン様に協力をいただき、研修という形で、学びながらデザインを起こしてまいりました。もともとのキャラクターに、学区の色、ワンポイントなどを加え幡多らしいイメージキャラクターが誕生しました。

小学校の2学期の始業式に、着ぐるみのお披露目及びイメージキャラクター入選した子供たちへの表彰式を行いました。以降「はたワン」は、学区の行事（運動会、敬老会、柿祭りなど）に参加、また学校での交通安全教室など多くの場面に登場し、また小学校の配布物には「はたワン」を必ず印刷するなどし、どんどん浸透させております。

「はたワン」が登場することで場が和み、笑顔が増えました。

今回はその活用範囲を広げ、活用方法をしっかりと検討し、学区内外に発信しながら、

学区の活性化に努め、学区愛着度NO.1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現)

	<p>多くの方々と協力し推進してまいります。</p> <p>④については各町内会が電子町内会の活用を検討しており、その動向をうかがいながら、小学校で使用されているメール機能を活用し、試行錯誤しながら連合町内会の課題として検討していくこととなりました。小グループでの情報のやり取りは、SNS(LINE等)を活用して進めます。</p>
<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<p>愛着度を高める活動については、イメージキャラクター「はたワン」ができたことにより学区全体が関わることができました。</p> <p>イメージキャラクター「はたワン」のPR活動は、小学校を中心にするので、一気に学区全体に浸透していくことができました。</p> <p>情報公開は、小学校が発行する「学校通信」や、HPなどまたは回覧板、各町内会の掲示板などで公開しております。学区の電子町内会も活用しつつあります。</p>
<p>⑤ 次年度計画</p>	<p>1)組織・体制の強化・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世代が活躍できる組織・体制を強化・拡大していきます <ul style="list-style-type: none"> ・行事、会議などに参加し、企画運営の協力をしながら気の合う仲間、思いの近い仲間を見つけ、お互いの協力者になる様、活動をしていきます。 ・事業に参加した方に声掛けをしながら協力者を募ります ・今までPTAや、支援ボランティアなどで活躍されていた方をお願いをしています。 ・目標として活動するメンバーを20名以上にしていきたいと考えています。 ・協力いただける団体と連携し、代表者の方にメンバーに加わってもらい、輪を広げます。 <p>2)学区内の活性化を図る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 発達障害の理解者・支援者を増やしていく推進活動 <ul style="list-style-type: none"> ・当事者の保護者の方が相談できる会を充実させ、安心して子育てができるための支援(専門家を呼び相談会や、参考図書を充実させる)や、当事者たちが家から出て集えるイベントの支援を行います。 ・講演会、勉強会、交流会などを実施し、当事者とどう関わればいいのかわからない方に対して情報提供を行い、理解者、支援者を増やします ・引きこもりがちの子供たちに人とかかわる機会を作り(お祭りのブース出店、研修会に参画する等)、地域の方と一緒に活動をし、お互いを知り合い、違和感がない環境をつくれます ② 地域交流活動(誰もが気軽に参加できる事業を企画・運営) <ul style="list-style-type: none"> ・昨年好評だった「泥んこ遊びの会」を幡多学区防災訓練と同日程に実施します。遊び内容：宝探し、ビーチフラッグ、など また、企画運営は幡多小PTAイクメンクラブ(お父さんの会)・支援ボランティアと協力し進めています。 ③ 幡多学区愛着度岡山NO.1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現) <ul style="list-style-type: none"> 1. 昨年度幡多学区にイメージキャラクター「はたワン」が誕生し、着ぐるみも作成いたしました。 学区の行事に積極的に参加して幡多学区の活性化に努めております。

	<p>今年度は以下の活動を行います。</p> <p>1) イメージキャラクター学区内の定着化</p> <p>2) 主な学区行事だけでなく、町内会行事、地域のあいさつ運動など、もっと多くの場を利用する。(イメージキャラクターの活用)</p> <p>3) 外部に対してPR活動</p> <p>2. 地域に根付く活動を行う</p> <p>1) 幡多学区 防犯の日の設定 岡山中央警察署の協力により、児童に向けた防犯教室を行います。それに伴い学区としても防犯強化に努めるため、「安全・安心住みたい街幡多学区」の意識を高めるため検討・推進していきます。</p> <p>2) 地域あいさつ運動推進 小学校ではあいさつ運動に取り組んでおりますがはたワンとともに笑顔で明るい地域づくりとして特に保護者の方のあいさつが少ないと声が上がっているので、毎月10日、25日の保護者が一緒に登校する時期を利用して実施していこうと考えております。 無理がないよう順次計画立てて行っています。</p>		
<p>⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>泥んこ遊びや、イメージキャラクター「はたワン」など、今回の事業は連合町内会・小学校を先頭に、多くの団体、ひとが関わり、協力して頂かなければ実現できなかった事業ばかりでした。改めて熱意のある、温かい学区だと思いました。ただ、会そのもののメンバーにはなかなかしてもらえなかったですが、横のつながり、縦のつながりをこれからも持ち、助け合って学区全体を巻き込んだ活動が今後もできるよう頑張りたいと思います。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="245 981 979 2047"> <p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容</p> <p>【実効性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単年度単位で考え優先順位をつけた方がよい →優先順はつけておりますが、挙げている事業はすべて必要で学区として熱望されているので1つ1つ確実に対応してまいりました。 <p>【組織の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高屋・赤田町内会のみでの参加ではなく、学区全体としての活動となるように。 →イメージキャラクター、や泥んこ遊びなど、学区全体での取り組みの中で行わせていただいております。各団体のキーマンが高屋・赤田に多いため誤解を招く組織に見えますが、学区全体で考えた活動としております。メンバーもより強化していく予定です。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりを進めるには、実効性・効果が難しいため既存の組織との行動が必要 →多くの各種団体・小学校に協力をいただき、進めてまいりました。そのため参加者や、「はたワン」などの浸透も早く行えました <p>【区民等への周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が「住みたい」という思いを反映している活動か？ ・地区住民の参加意欲がわくか検討 →なかなか難しい課題です。今後進めていく上でアンケートなり取って調査・確認してまいります </td> <td data-bbox="979 981 1445 2047"> <p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>I できた</p> <p>II おおむねできた</p> <p>III 一部できなかった</p> <p>IV まったくできなかった</p> <p>V 改善意見がなかった</p> </td> </tr> </table>	<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容</p> <p>【実効性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単年度単位で考え優先順位をつけた方がよい →優先順はつけておりますが、挙げている事業はすべて必要で学区として熱望されているので1つ1つ確実に対応してまいりました。 <p>【組織の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高屋・赤田町内会のみでの参加ではなく、学区全体としての活動となるように。 →イメージキャラクター、や泥んこ遊びなど、学区全体での取り組みの中で行わせていただいております。各団体のキーマンが高屋・赤田に多いため誤解を招く組織に見えますが、学区全体で考えた活動としております。メンバーもより強化していく予定です。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりを進めるには、実効性・効果が難しいため既存の組織との行動が必要 →多くの各種団体・小学校に協力をいただき、進めてまいりました。そのため参加者や、「はたワン」などの浸透も早く行えました <p>【区民等への周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が「住みたい」という思いを反映している活動か？ ・地区住民の参加意欲がわくか検討 →なかなか難しい課題です。今後進めていく上でアンケートなり取って調査・確認してまいります 	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>I できた</p> <p>II おおむねできた</p> <p>III 一部できなかった</p> <p>IV まったくできなかった</p> <p>V 改善意見がなかった</p>
<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容</p> <p>【実効性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単年度単位で考え優先順位をつけた方がよい →優先順はつけておりますが、挙げている事業はすべて必要で学区として熱望されているので1つ1つ確実に対応してまいりました。 <p>【組織の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高屋・赤田町内会のみでの参加ではなく、学区全体としての活動となるように。 →イメージキャラクター、や泥んこ遊びなど、学区全体での取り組みの中で行わせていただいております。各団体のキーマンが高屋・赤田に多いため誤解を招く組織に見えますが、学区全体で考えた活動としております。メンバーもより強化していく予定です。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりを進めるには、実効性・効果が難しいため既存の組織との行動が必要 →多くの各種団体・小学校に協力をいただき、進めてまいりました。そのため参加者や、「はたワン」などの浸透も早く行えました <p>【区民等への周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が「住みたい」という思いを反映している活動か？ ・地区住民の参加意欲がわくか検討 →なかなか難しい課題です。今後進めていく上でアンケートなり取って調査・確認してまいります 	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>I できた</p> <p>II おおむねできた</p> <p>III 一部できなかった</p> <p>IV まったくできなかった</p> <p>V 改善意見がなかった</p>		

⑧事業実施経過

月	活動内容
4月	15日 スタッフ会議実施(主要メンバーで方向性の確認と事業計画確認) 22日 イメージキャラクター・泥んこ遊び打合せ (イクメンクラブ、連合町内会役員) 25日 イメージキャラクター打ち合わせ
5月	13日 幡多学区交代協総会、防災会・泥んこ遊び打合せ 20日 幡多学区連合町内会総会 情報発信について打ち合わせ 26日 幡多学区社会福祉協議会総会 28日 ウィズはあとスタッフ会議
6月	6日 防災会・泥んこ遊び打合せ 7日 防災会・泥んこ遊び打合せ 11日 泥んこ遊び 清音視察 14日 防災会及び泥んこ遊び打合せ 16日 ウィズはあとスタッフ会議 23日 イメージキャラクター取り組み等研修 29日 子育てクラブそうめん流し
7月	3日 イメージキャラクター打ち合わせ・研修 7日 高屋パークフェスティバル実行委員会 8,9,15日 泥んこ遊び安全対策及び会場準備 21日 ウィズはあとスタッフ会議 23日 ウィズはあと・おひさま会合同そうめん流し協力
8月	16日 高屋パークフェスティバル実行委員会 21日 イメージキャラクター打ち合わせ 28日 放課後ラボ流しそうめん協力 イメージキャラクターお披露目打ち合わせ 高屋パークフェスティバル実行委員会 29日 イメージキャラクターお披露目うちあわせ
9月	1日 小学校始業式後「はたワン」お披露目会 7日 ウィズはあとスタッフ打ち合わせ 16日 高屋パークフェスティバル参加(高屋クエスト、発達障害の子どもたちブース出展) 21日 幡多小学校にて交通安全啓発・あいさつ運動 27日 幡多小学校内幡多っ子祭り参加
10月	8日 幡多学区敬老会にてお披露目・PR 9日 幡多学区運動会開会式にてお披露目・PR 20日 ウィズはあとスタッフ会議 (2月10日の講演会打ち合わせ) 22日 スタッフ会議 (中間報告反省会)
11月	2日 地区懇談会「はたワン」お披露目・PR 7日 「はたワン」の今後について打ち合わせ 19日 沢田柿祭りにて「はたワン」お披露目・PR

12月	3日 ウィズはあとスタッフ会議 (2月講演会に向けて)
1月	13日 ウィズはあとスタッフ会議 (2月開催の講演会に向けた準備) 幡多学区新年互例会参加 17日 スタッフ会議 (次年度区づくり打ち合わせ) 19日 ウィズはあとスタッフ会議 (2月開催の講演会に向けた準備)
2月	6日 発達障害を理解しよう講演会最終打ち合わせ 9日 幡多小学校開港記念日 あいさつ運動参加 10日 発達障害を理解しよう講演会開催 23日 ウィズはあとスタッフ会議 (講演会反省会) 26日 幡多小学校にて防犯教室 (中央警察と共に)
3月	11日 東公民会主催 竜操中学校区ワークショップ参加 15日 幡多小学校卒業式に参加 16日 ウィズはあと特別講座 17日 全体の反省、報告書作成 20日 スタッフ会議 (全体の反省、次年度の取り組み、「はたワン」運用検討)

⑩ 収支決算書

◆収入

単位:円

項目	予算	決算	備考
岡山市補助金	204,000	155,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	0	0	
参加者負担金	0	0	
協賛金	204,000	155,376	連合町内会、交対協など
寄付、他収入	0	0	
計	408,000	310,376	

◆支出

単位:円

項目	予算	決算	備考
①消耗品費	30,000	39,877	①泥んこ遊び場保護シート ②講演会用チラシ6,000枚 ③イメージキャラクターPR用チラシ5,000枚 ④封筒、切手代等 ⑤流しそうめん部材
②食糧費	30,000	14,710	会議、準備時のスタッフ茶代
③印刷製本費	98,000	72,320	①ボランティア活動書200枚 ②はたワンシール3,000枚
⑥通信運搬費	10,000	0	
⑨使用料	5,000	0	
⑩原材料費	95,000	20,669	①泥んこ遊び場看板作成費(布、ペンキ、ひも) ②泥んこ遊び用部材(ボール、ゴムホース等) ③はたワンお披露目材料(看板、シート、洗剤、消臭等)
⑪委託料	60,000	75,600	①泥んこ遊び場内安全対策(柄、破片撤去、一部土砂スキトリ等)

⑬報償費	80,000	87,200	①講師謝礼(講演会、特別 口座 計3名 ②託児謝礼 (2,000円×2名分) ③イメージキャラクタ作り指導、 着ぐるみ取り扱い、PR等の 研修費
計	408,000	310,376	